

平成29年度自己評価結果公表シート

作成 幼保連携型認定こども園せんりひじり幼稚園・ひじりにじいろ保育園

1、本園の教育目標

園児一人一人の存在そのものを尊重し、個性を大切に教育により自己肯定感を育てると共に、人と関わる良さ、自然と関わる良さを十分に経験し、意欲的に力強く生きる力を育てる。

本年度、重点的に取り組む目標・計画

これまでの自己点検・評価の結果や年度末の保護者アンケートも踏まえて下記の点について重点的に取り組む。

1. 就学までの6年間を見通した教育・保育課程の見直し。
3歳からの集団による教育と0歳～2歳の個別性の高い保育を理解し、それぞれの発達段階に応じた教育・保育の充実を図る。
2. 特別支援の充実を図る。
市や他機関との連携の元、特別支援教育の充実を図る。
3. 子どもの運動能力の向上を図る。
安全な環境の中で、日々の運動の機会を増やし運動能力の向上を図る。
4. 表現する力の向上を図る。
保育者のリズム遊びや表現活動の研修を増やし、豊かな表現活動ができる環境を用意する

2、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
1 0歳～6歳の担当者がそれぞれの年齢の発達における課題や特徴をまとめるための話し合いの場を持ち、6年間の育ちを見通した教育・保育課程を作成する。	話し合いを重ね「育ち合う 子どもと共に歩む6年間」を作成する。現在、発達・心理の研究者の方々等の専門家のご意見もいただきながら作成。
2 市との連携の元、特別支援を要する子の保育の充実を図るため、ケース会議や外部講師を招いての研修の充実を図る。	市との面接・協議に主幹教諭が参加すると共に梅花女子大学伊丹教授のご指導の下園内研修を実施する。
3 安全な環境の中で、日々の運動の機会を増やし運動能力の向上を図る。	正課の体操だけでなく、園庭での体を使った活動や、園外の散歩を通し、身体のような部位の動きを意識した運動を取り入れている。また、クライミングなど、腕の力をつけるための環境も整え、子どもたちの運動能力の向上を図る。 安全マップの作成やヒヤリハットの記録をとるなどし、定期的な点検を行うことで子どもが安全に過ごすことができるよう取り組んでいる。

<p>4 リズム遊びや劇遊びなどの表現活動の研修を増やし、保育者の表現力の向上も図る。表現活動のための環境を整える。</p>	<p>リズム遊びや劇遊びなどの豊かな表現活動のために、保育者の研修を行い、保育内容や環境を工夫し保育力の向上を図る。また、シンセサイザーを購入し、表現活動の幅を広げ、よりイメージの豊かな表現活動につなげている。</p>
--	---

3、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>本年度も、1年間を通して子ども理解を中心とした園内研修や支援児のカンファレンスに取り組んだ結果、個々の保育者が子どもの思いを理解することから、環境の構成、教材の準備、保育者の関わり等を考えていくことができた。また、非常に見えにくい幼児期の育ちを家庭と共有するために様々な方法(ポートフォリオ・ドキュメンテーション・コンセプトブック等)により伝えていった結果、個々の子ども育ちを良さとして肯定的に観ると共に3年間の育ちのイメージを共有することができた。</p> <p>年度末に実施した全家庭対象の匿名アンケートでは、「1. せんりひじり幼稚園の教育について・・・」の設問で「とてもよかった」・「よかった」の合計が 97.3%という昨年とほぼ同じ結果になった。室内環境の評価が昨年より 8.8%上がったのは、ソファを新調するなど室内コーナーを充実させた成果と考える。屋外環境も植物の充実を図った結果、評価が上がっていた。また、こども園 3 年目で、1号と2号の保護者のPTA活動に対する意識の違いを感じる方もおり、3歳児の2号保護者のPTA活動内容を改善し、働いている保護者も参加しやすい活動内容にした。各家庭へ教育内容の理解を図ることや情報の周知等、まだまだ解決すべき課題や努力すべき点はあるものの子どもの成長を自らの「喜び」として向き合ってきた先生達の姿勢を誇りに思うとともにご理解、ご支援頂いている保護者の方々に感謝しつつ、今後とも、人生の基礎を培う幼児教育の重要性を常に意識して教育の質の向上に努めていきたい。</p>
--

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
新教育課程の編成	月ごと行事ごとに、子どもたちの育ちの姿を抽出し、月ごとに育ちや力を整理していく。
子どもの身のこなし、運動能力の低下	日常生活の中で様々な種類の運動ができるよう環境、活動内容の見直しを図る。
長時間保育の子どもたちの園生活を考える	幼稚園での保育時間の前後の時間帯を過ごすホームクラスを、家庭的な雰囲気となるよう環境を整える。
2・3歳児の接続	にじいる保育園からの進級児の安心安定を図るために、進級児を一クラスにまとめる。

6、学校関係者の評価

<ul style="list-style-type: none"> ・ PTA 活動への負担感の違いがあるようだが、こども園の保護者の楽しんでいる人の方が多い。入園の段階で参加型の園であることを理解して入園してもらえるようにしてもらったと思う。 ・ ポートフォリオが良かったという意見が多く出ている。園での様子がわかり、宝物になっている。 ・ 先生たちが子どものいいところを認め、肯定的なまなごしを向けてもらえることが自信となっている。 ・ 働かれている保護者の方以外にもホームクラスがもっと使いやすくしてほしいという意見がある。 ・ お父さんのための家庭学級講座のようなものも開いてもらいたいという意見がある。
--

- ・ 北館のらせん階段の手すりの枠が広く、子どもがすり抜けないか心配だという意見が出ている。夏はつたなどの植物が枠に絡まっているが冬は枯れてしまうため、安全対策が必要。

7、財務状況

公認会計士による年間4回の監査において、園児募集が順調であり、耐震化に伴う大規模改修、建て替え工事のための借入金も順調に返済が進む等、財務状況は良好であるとの指摘を受けている。